



年齢が高くなると、症状が進む人も増えるのですね。

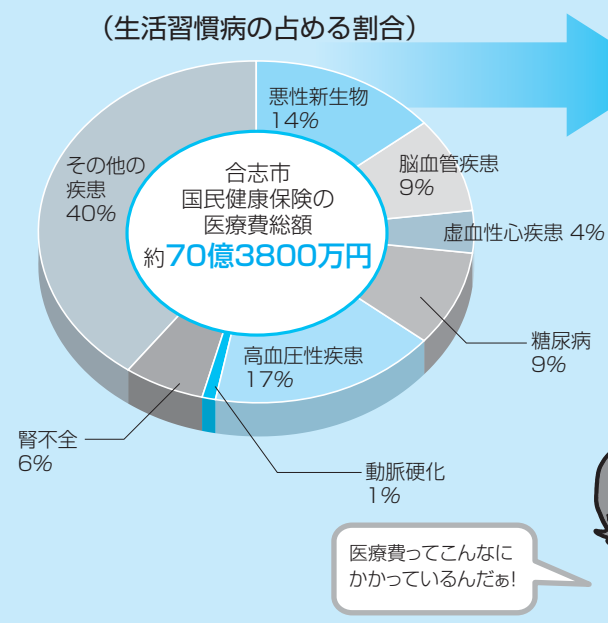


健康になれば医療費も節約できる！

合志市の国民健康保険の医療費総額
70億3819万4570円 (平成18年度)！

※高血圧性疾患と糖尿病だけで、全体の26% (約4分の1) を占めています。

図3. 平成18年度 合志市国民健康保険の医療費内訳



悪性新生物 ……約9億5800万円
脳血管疾患 ……約6億2200万円
虚血性心疾患 ……約2億9400万円
糖尿病 ……約6億3300万円
高血圧性疾患 ……約11億8300万円
動脈硬化 ……約5500万円
腎不全 ……約4億360万円

主な生活習慣病にかかった
医療費は**約41億4900万円**!!
医療費全体の**約6割**!!

医療費ってこんなに
かかっているんだあ!

生活習慣病を起
こさないように
することが、医療
費節約の近道に
もなるのです。

生活習慣病になると、健康を害してしまうばかりでなく、家計にも大きく影響を及ぼします。生活習慣病は予防が可能です。早く気づいて生活習慣を改善すれば治ります。

すでに治療中の方は、症状がないからと治療を中断せず根気よく続けましょう。そのことで、大きな病気に進むことを防ぐことができます。

「忙しい」「今どこも悪くないから」と健診を受けたことがない人も、ぜひ健診を受けましょう！

平成20年度の特定健診(養生園で実施)は、6月ごろ予定しています。



ドロドロ血

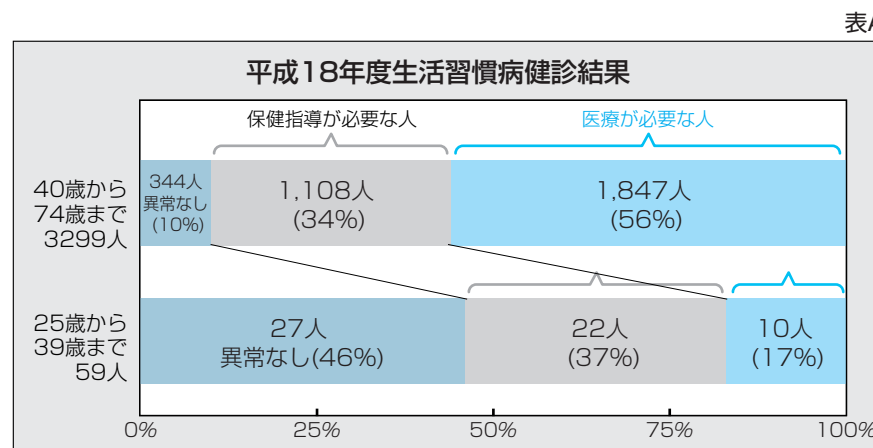


4月から新しい健康診断・保健指導がスタート

問い合わせ先 健康づくり推進課(西合志庁舎) ☎242-1183

特定健診・特定保健指導 part 5

11月号から、4回にわたって特定健診・特定保健指導の話をしてきましたが、今回は市で健診を受けた人の結果がどうだったか、また、その病気でどれくらい病院にかかっているかお話しします。



このまま見つかれば…
心筋梗塞？脳梗塞？人工透析？

まだ若いから、自分
には関係ないと思う
ていたけど…

若いから生活習慣病にかからないわけではありません。表Aをみると、合志市民25～39歳の受診者では、**約半数**の人が何らかの症状をもっていることになります。生活習慣病の多くは症状の自覚がないまま進行します。気づいたときには手遅れにならないよう定期的に健診を受け、自分の体の状態を知り、早い段階から予防や改善をしましょう。

年齢ごとにどのような病気が多いかみてみると…

表B.

男 性					女 性				
	39歳以下	40歳代	50歳代	60歳以上		39歳以下	40歳代	50歳代	60歳以上
1位	中性脂肪	LDLコレステロール	中性脂肪	高血圧	1位	LDLコレステロール	LDLコレステロール	LDLコレステロール	LDLコレステロール
2位	尿酸	中性脂肪	LDLコレステロール	ヘモグロビンA1c	2位	中性脂肪	BMI	高血圧	高血圧
3位	※ BMI	BMI	BMI	クレアチニン	3位	BMI	高血圧	中性脂肪	ヘモグロビンA1c
4位	HDLコレステロール	尿酸	ヘモグロビンA1c	中性脂肪	4位	空腹時血糖	ヘモグロビンA1c	BMI	中性脂肪
5位	LDLコレステロール	高血圧	高血圧	BMI	5位	ヘモグロビンA1c	中性脂肪	ヘモグロビンA1c	BMI

※BMI………肥満度指標のこと。『体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)』の計算式で求められた値25以上を「肥満」と判定。

男女ともに、動脈硬化を起こしやすいLDLコレステロール(悪玉コレステロール)や高血圧、ヘモグロビンA1c(血糖の2～3カ月前からの状態が分かる)の割合が高いことが分かります(表B)。いつの間にか血液がドロドロになり、あなたの血管は動脈硬化になっていないでしょうか？